



クラウドネイティブの**Oracle**データベースを リストア

BlueXP backup and recovery

NetApp
April 18, 2024

目次

| | |
|--|---|
| クラウドネイティブのOracleデータベースをリストア | 1 |
| クラウドネイティブのOracleデータベースを元の場所にリストア | 1 |
| クラウドネイティブのOracleデータベースを別の場所にリストア | 2 |

クラウドネイティブのOracleデータベースをリストア

クラウドネイティブのOracleデータベースを元の場所にリストア


データ損失が発生した場合は、データファイル、制御ファイル、またはその両方を元の場所にリストアしてから、データベースをリカバリできます。

作業を開始する前に

Oracle 21cデータベースがstarted状態の場合、リストア処理は失敗します。データベースを正常にリストアするには、次のコマンドを実行する必要があります。

```
cp -f <ORACLE_HOME>/jdbc/lib/ojdbc8.jar  
/opt/NetApp/snapcenter/spl/plugins/sco/lib/ojdbc8-8.jar
```

手順

1. をクリックします  リストアするデータベースに対応し、*[リストア]*をクリックします。
2. データベースのリストア先となるリストアポイントを選択し、*[元の場所にリストア]*をクリックします。
3. Restore Scopeセクションで、次の操作を実行します。

| 状況 | 手順 |
|-----------------------------|---------------------------------|
| データ・ファイルだけをリストアする場合 | [すべてのデータファイル]を選択します。 |
| 制御ファイルだけをリストアする場合 | 「制御ファイル」を選択します |
| データ・ファイルと制御ファイルの両方をリストアする場合 | [すべてのデータファイル]および[制御ファイル]を選択します。 |

また、[強制的にインプレースリストア] チェックボックスをオンにすることもできます。

Amazon FSx for NetApp ONTAP またはCloud Volumes ONTAP SANレイアウトで、SnapCenter Plug-in for OracleがASMディスクグループにOracleデータファイル以外の外部ファイルを検出した場合は、接続とコピーのリストアが実行されます。外部ファイルには、次のタイプが1つ以上ある可能性があります。

- パラメータ
- パスワード
- アーカイブログ
- オンラインログ
- ASMパラメータファイル。

[強制インプレースリストア]オプションは、パラメータ、パスワード、アーカイブ・ログ・タイプの外部ファイルを上書きします。[強制的にインプレースリストア]オプションを選択した場合は、最新のバックアップを使用する必要があります。

4. リカバリ範囲セクションで、次の操作を実行します。

| 状況 | 手順 |
|---|-----------------------------|
| 最後のトランザクションまでリカバリする場合 | [* すべてのログ *] を選択します。 |
| 特定の System Change Number （ SCN ） までリカバリする場合 | [Until SCN]*を選択し、SCNを指定します。 |
| 特定の日時にリカバリする | [* 日付と時刻 *] を選択します。 |
| リカバリが不要である場合 | 「 * リカバリなし * 」 を選択します。 |

選択したリカバリ範囲の[アーカイブ・ログ・ファイルの場所*]フィールドでは'リカバリに必要なアーカイブ・ログが格納されている場所を任意で指定できます

リカバリ後にデータベースを読み取り/書き込みモードで開く場合は、チェックボックスを選択します。

5. 「次へ」をクリックして詳細を確認します。

6. [* リストア]をクリックします。

クラウドネイティブのOracleデータベースを別の場所にリストア

データ損失が発生した場合、Azure NetApp FilesでのみOracleデータベースを別の場所にリストアできます。別の場所にすることも、同じホストにすることもできます。

作業を開始する前に

- Oracle 21cデータベースがstarted状態の場合、リストア処理は失敗します。データベースを正常にリストアするには、次のコマンドを実行する必要があります。

```
cp -f <ORACLE_HOME>/jdbc/lib/ojdbc8.jar  
/opt/NetApp/snapcenter/spl/plugins/sco/lib/ojdbc8-8.jar
```
- 代替ホストのOracleバージョンが元のホストと同じであることを確認する必要があります。


このタスクについて

リストア処理の開始時に、Oracleホーム、最大ボリュームスループット、Oracle SID、およびデータベースクレデンシャル以外の構成を変更することはできません。

デフォルトでは、_until_cancel_setをtrueに設定すると、フルリカバリが有効になります。

リストアされたデータベースのアーカイブログモードは、デフォルトではオフになっています。必要に応じて、アーカイブログモードを有効にして、アーカイブログをNetAppボリュームに保持できます。

手順

1. をクリックします  リストアするデータベースに対応し、*[リストア]*をクリックします。
2. データベースのリストア先となるリストアポイントを選択し、[別の場所にリストア]>[次へ]*をクリック

します。

3. [Configuration]ページで、代替場所、SID、ORACLE_Home、データベースクレデンシャル、およびストレージスループットの詳細を指定します。

データベースクレデンシャルでOSユーザ認証が無効になっている場合は、リストアされたデータベースに同じホストまたはターゲットホストで接続するsysユーザのパスワードを指定する必要があります。

4. をクリックし、詳細を確認して[リストア]*をクリックします。

リストア処理の進捗状況は、[Job Monitor]ページで確認できます。ジョブが完了したら、*[検出のリフレッシュ]*をクリックして、リストアされたデータベースを表示します。ただし、別の場所にリストアされたデータベースを保護することはできません。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。